

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム



徳島大学理事(地域連携担当) 副学長 徳島大学地域連携戦略室長 吉田 和文 (よしだ かずふみ)

雇用創出

このプログラムは、徳島県が地方創生に向け挙県・致で取り組むべく、昨年7月に策定した「v's東京」とくしま回帰総合戦略(5年計画)の中核として位置付けられ、産学官連携による政策的な支援や若者定着促進に向けた取り組みが展開されています。

た進学説明会、学生・父兄を対象とした合同就職説明会などを実施し、学生の県内就職率の向上につなげていきます。

から事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す「寺子屋式インターンシップ」を開発します。

「元気印イノベーション人材」の育成

これらの教育カリキュラムと、今年度から試行中の「ポランティア・パスポート」、地元で活躍する各分野のリーダーやOB・OGを講師とした「キャリア教育科目」などにより、地域を支える「4つの能力」(①地域文化や地域への理解・愛着、②当該業種に必要な専門分野の知識・理解、③明確な職業人意識とコミュニケーション力、④課題に挑戦する元気・覇気)と、長期的な人生設計に向けた「2つの確信」(①地域の将来に対するビジョン、②地域で暮らすことへのメリット)を備えた「元気印イノベーション人材」を育成します。

教育プログラム開発

本学や徳島県の強みを活かし、県内で雇用創出と就職率向上が期待できる①次世代技術(LED・自動車・ロボット等)、②地域医療・福祉、③6次産業化、④地域づくり・観光(ICT活用を含む)の4つの分野に合わせた教育プログラムを、分野毎に連携して開発します。

地域理解のための教育

平成28年度の入学生から、地域の文化や地域への理解・愛着を深める地域志向科目を全員が履修することになります。総合科学部、理工学部、生物資源産業界の学生は、全学共通教育に新設される「地域科学教育科目群」から1科目以上、医学部、歯学部、薬学部の学生は、「地域科学教育科目群」以外の科目群又は専門科目に設けた「地域志向指定科目」から1科目以上を履修することになります。

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)」(文部科学省・大学教育再生戦略推進費)に、徳島大学が申請大学として提案していた「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」(H27～31年度事業)が採択されました。COCプラスは、大学が地方公共団体や企業等と協働し、魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域ニーズに応じた人材育成に必要な教育カリキュラム改革を行う取組の支援により、地方創生の中心となる「ひと」を地方に集積する事業です。

県内の大学や高等専門学校、自治体、企業、団体、NPO等計35機関による事業協働体を形成し、それぞれの特性を活かした緊密な連携のもと、チュートリアル方式を取り入れたインターンシップをはじめとする教育プログラムの開発や雇用創出に取り組み、事業終了までの5年間で学生の県内就職率10%向上を目指します。

地元就職率向上に向けた教育カリキュラム開発

地域産業界リーダーや地域で活躍するOB・OGを講師とした協働講座、高校生を対象とした

県内高等教育機関との協働事業

地域産業界リーダーや地域で活躍するOB・OGを講師とした協働講座、高校生を対象とした

Tokudai NEWS 徳大ニュース

9月20日

徳島大学医学部柔道部、全団体優勝!



優勝を収めました。

本大会の参加校は全6校で、まぐ3チームずつリーグ戦を行い、1位校同士で決勝戦が行われました。徳島大学はリーグ戦にて自治医科大学、群馬大学、決勝戦では東海大学を破り、見事優勝を果たしました。

10月10日

徳島大学生物資源産業界学部新設キックオフシンポジウムを開催

徳島大学は平成28年4月に新設する「生物資源産業界学部」のキックオフシンポジウム「徳島からイノベーションを起こし日本を元気に」を開催しました。

シンポジウムでは、パネラー報告の後、新学部の概要及び入試説明があり、続くパネルディスカッションでは、生物資源を活用した

地域活性化の方策について討論が行われ、「6次産業化の実現には地域の生物資源を見直し、活用することが重要」「経営感覚を持ち、ITやロボットを利用したハイテク農業を生み出す人材を期待する」「最近では安定志向の学生が多いが、新産業を創出するためにはリスクに立ち向かっていくような学生を養成してほしい」など、新学部への期待が寄せられました。高校生や県関係者ら約320人が参加し、新学部の狙いや将来像に理解を深めていただきました。



10月31日～11月1日

徳島大学常三島祭、蔵本祭を開催

徳島大学常三島祭と蔵本祭は、学生同士のつながりや交流を深め、地域の方々にも本学に親しみを持っていただくことを目的に行われ、今年で常三島祭は63回目、蔵本祭は31回目となりました。期間中、常三島・蔵本の両キャ



常三島祭



読者の言葉

徳大が新しい学部編成になることの趣旨や発展性等は、とても興味深く拝読しました。ただ、現在の在校生がこの先・・・に少し不安を感じながら、読み進めました。

ご意見どうもありがとうございます。徳島大学では来年度から、新学部が発足します。これらの体制は「平成28年度入学の学生」から適応され、現在在学中の学生に関しては、入学時の体制が卒業まできちんと確保されることになっています。今までの講義も全て保証されますし、卒業に関わる単位の内訳等も入学時のまま変更されません。従って数年間は、新旧2種類の学部や学科が並行していくことになりま

す。 大学院に関しては、来年度入学の学生が卒業する、4年後の平成32年度をめどに、新しい組織へと移行することになる予定です。 これからは新学部の良いところを積極的に取り入れ、現在の体制もさらに充実させて行きたいと考えております。

今年8月の第67回西日本医科学生総合体育大会での優勝に続き、9月20日に行われた第49回全日本医科学学生体育大会王座決定戦においても、徳島大学医学部柔道部が

ンパスでは、学生による様々な企画が行われ、模擬店も多数出店しました。会場には、地域住民の方にも多数ご来場いただき、学生たちと交流を図っていただけたようでした。



蔵本祭

留学生文化理解促進のためのスタディツアーを実施

国際センターは、留学生文化理解促進のためのスタディツアーを実施しました。

本事業は、公益財団法人日本国際教育支援協会の支援により行われる事業です。今回は「外国人留学生と日本人学生・地域住民がともに学ぶ徳島の文化」のテーマで、本学外国人留学生24名、日本人学生（学生サポーター）8名、および地域サポーター3名が参加し、渦の道、藍の館（藍染め体験）、大塚



製薬板野工場（医薬品と食品工場見学）、大塚能力開発研究所を見学しました。参加者は、藍染めの美しい仕上がりを感じ、工場の見学では最新鋭の生産ラインを熱心に見学していました。

11月4日

若手研究者学長表彰制度による学長表彰式を挙行

若手研究者学長表彰制度による学長表彰式を挙行しました。

平成18年度から実施している本表彰制度は、若手研究者の研究能力の向上を図るとともに、若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進することを目的とし、40歳未満の特に優れた若手研究者を表彰し、研究支援費を授与するものです。10回目となる今年度は学内内部局長等から18名の推薦があり、研究業績、将来性を総合的に評価した結果、5名を表彰し、学長から賞状と研究支援経費として100万円の支給目録を手渡され



ました。式後には、学長、理事、部局長と受賞者が懇談し、受賞者から研究の現状について説明があり、研究環境の支援の必要性に関して意見が交わされました。



ガレリア新蔵 NEWS

第14回特別展

「賀川豊彦とふるさと徳島」展示会

平成27年9月10日(木)～12月10日(木)

第15回特別展

GIS(地理情報)と表現 開催中

平成27年12月18日(金)～平成28年2月26日(金)

第14回特別展では、大正・昭和期の社会改良家であり、生活協同組合運動で重要な役割を果たしたのみならず、さまざまな分野でも偉大な功績を残した世界の偉人賀川豊彦（一八八八～一九六〇）を取り上げ、とりわけ賀川豊彦と徳島との関わりに焦点を合わせて展示会を行いました。賀川豊彦は神戸生れですが、4歳のときに両親と死別して、徳島の父の実家に引き取られて以来、旧吉野川流域の大自然によって鋭い感性を磨き、のちに日本人初のノーベル文学賞候補とも言われるほどに優れた著作も数多く遺しています。彼にとってはまさに徳島こそ本場の「ふるさと」であったと言ってもよいでしょう。展示期間中の11月20日(金)には、その賀川豊彦晩年の大作『宇宙の目的』（一九五八年）を二〇一四年に初めて英訳したプリンス・ジョン・ヘイス



博士のトマス・ジョン・ヘイス ティングス氏を招聘して、日亜会館2階講義室で講演会を開催しました。15歳の時、米国の宣教師からキリスト教の洗礼を受けた賀川豊彦が、さまざまな活動体験を通して、自分の生きる根拠、近代日本の行方、さらには宇宙の目的を模索しながら、「宇宙意志に

同化するところ」を熱望して、自らの人生哲学を打ち立てたことを、ヘイスティングス氏はあふれるばかりの情熱を持って話してくださいました。「芸術的に宇宙を見る」ということが今回の講演の主張であり、「あらゆるものを全体から見る」姿勢の必要性を論じられて、現代社会に大切なものを示唆してくださいました有益な講演でした。

第15回特別展は、GIS(地理情報システム)を使った展示会であり、総合科学部の地域科学を専門とする数人教員たちがそれぞれの研究成果を発表しています。とりわけ津波浸水深度仮想体験装置は以前からテレビニュース等で取り上げられて、注目されているところですが、今回の展示会ではこれまでとはまた違う角度からその体験装置の展示を行っています。是非、この機会にガレリア新蔵展示室にお越しください。



Ever Researching For a Brighter World

身近なところでNICHIAの製品は活躍しています



日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡491番地
TEL:0884-22-2311
<http://www.nichia.co.jp/jp/recruit/expert.html>



ホテルならではの質の高い空間と、行き届いたサービス。全ての客室・レストラン・宴会場など、全面リニューアル!

JR徳島駅直結ホテル



ホテルクレメント徳島
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61
TEL.088-656-3111

★詳しくはHPにて <http://www.hotelclement.co.jp>

徳島大学公式アプリを公開

大学公式アプリは、iPhoneやiPadから、簡単に大学情報にアクセスすることができ、受験生や在学生、保護者や地域の方々にとっても大変便利なツールです。是非ご活用ください。



iPhone iPadの場合



Androidの場合



ホテルサンルート徳島 シングル ¥7,020~ ツイン ¥12,960~
〒770-0834 徳島市元町1丁目5-1
Tel.088-653-8111 / Fax.088-653-9888

